



三本國志

國政圖

896



漢高祖  
四百餘年  
靈帝  
求豪傑

三國志



荆楚義漢

漢高祖三國志卷之十一 荆楚義漢 3364



張飛於長坂  
橋大罵曹操







玄德

張飛



孔明

玄  
德  
至  
卧  
龍  
岡  
之  
草  
廬  
問  
孔  
明



三顧ふして



初めて  
 仕へ  
 大に  
 現  
 忠義  
 盡  
 名を  
 止



三國志



三國志

五

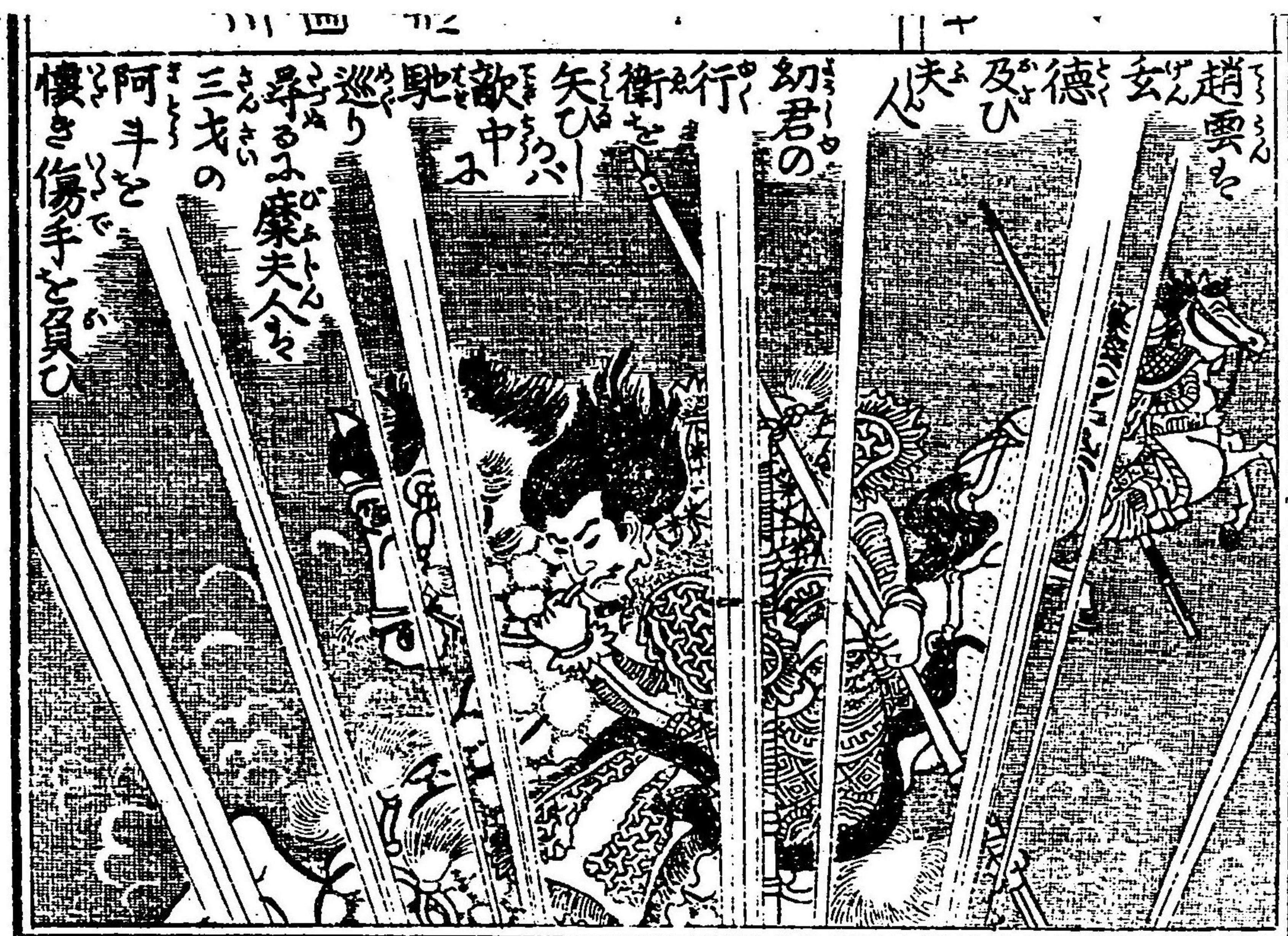
蔡瑁も玄徳を  
 撃つるも趙雲も  
 劍を帯て玄徳の  
 後を放さず故に  
 別回ふ席を  
 設け酒宴を  
 儻ふ  
 及び  
 伊籍も  
 孟を捧げて



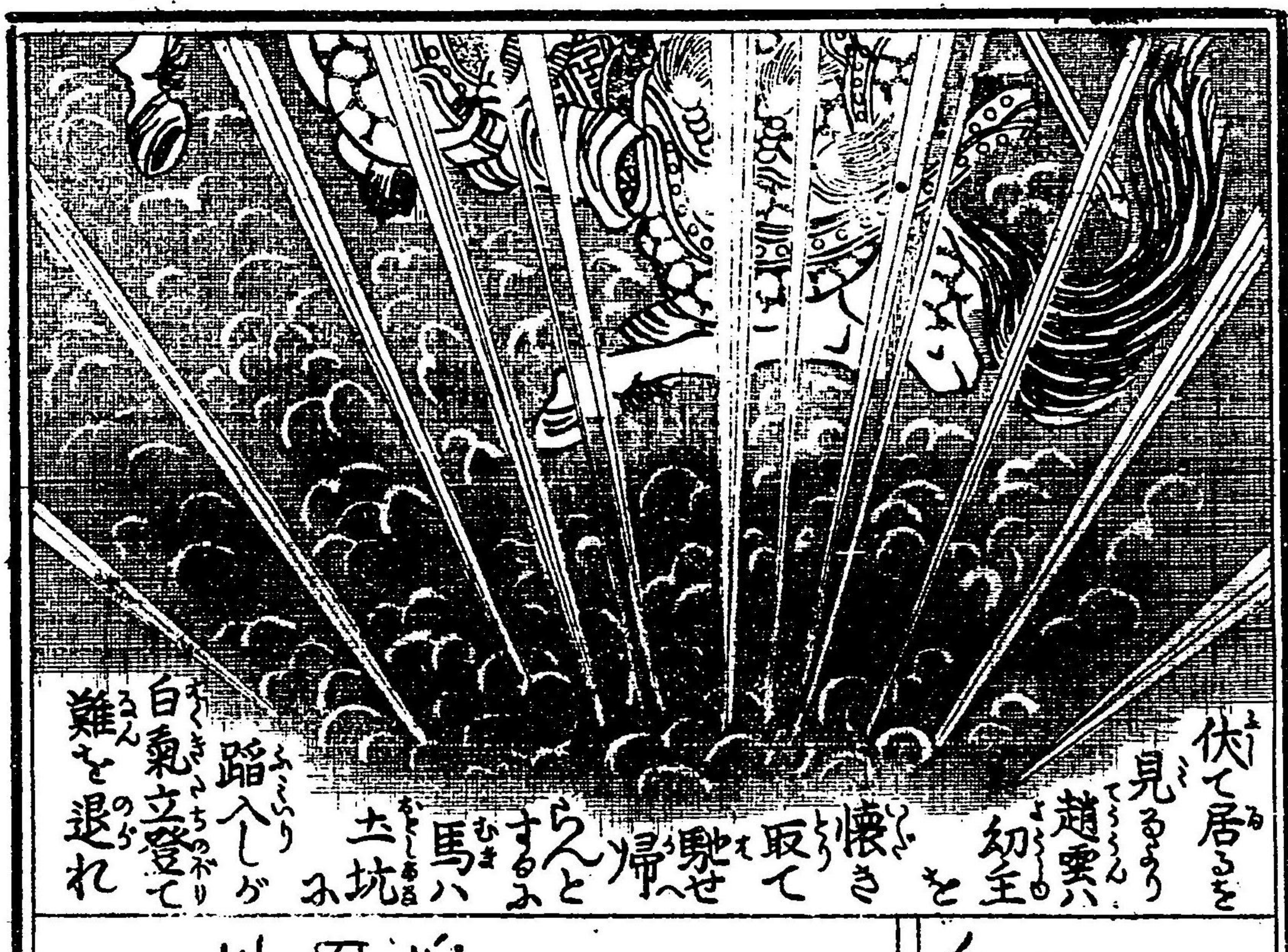
玄徳の前  
 進み依歸  
 留今君を  
 殺さんとして  
 南北東の  
 三門伏兵  
 あり急ぎ洛させ  
 めと云ふ玄徳も  
 後園を出て馬乘  
 みて走り檀溪に至  
 馬を躍し波濤を  
 越て西岸に退る







趙雲と  
 徳及ひ  
 幻君の  
 行衛を  
 矢ひ  
 敵中  
 馳り  
 巡り  
 尋るふ  
 三戈の  
 阿斗と  
 懐き傷手と負ひ



伏て居る  
 見ゆる  
 趙雲  
 幻主  
 懐き  
 取て  
 馳せ  
 帰へ  
 すらと  
 するふ  
 馬ハ  
 大坑  
 踏入しが  
 白氣立登て  
 難を退れ



大康元年夏五月江南盡く定まり  
 三國晋帝小飯一王濬師を收め  
 洛陽かへり帝宴を設けて呉の  
 君臣ともへみ將士を賞して

御届 明治二十年三月十一日

浅草区森田町九番地  
 編輯兼出版人 奥田忠兵衛

新繪紙 色々

銅鑄小本 品全

版元

東京浅草區  
 森田街九番地  
 奥田忠兵衛

